

自動運転:フォルクスワーゲン グループ、 モービルアイとの協力関係を強化

- フォルクスワーゲンとモービルアイが新しい自動運転機能を量産車に導入
- モービルアイは、「Mobileye SuperVision™」および「Mobileye Chauffeur™」プラットフォームに基づくテクノロジーを提供
- アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ポルシェは、これらのテクノロジーを使用して、プレミアム指向の新しい運転機能を各ブランドのモデルポートフォリオに迅速に導入する予定
- モービルアイは、自動運転用のさらに高度なテクニカル コンポーネントをフォルクスワーゲン商用車に供給

2024年3月20日 ウォルフスブルグ/エルサレム - フォルクスワーゲン グループは、パートナー企業との戦略的な協力関係を推進しており、自動運転および自律運転の分野における開発作業を大幅に加速しています。現在、フォルクスワーゲンは、自動運転の分野でモービルアイ(Mobileye)とのパートナーシップを強化しています。両社は協力して、新しい自動運転機能を量産車に導入します。モービルアイは、「Mobileye SuperVision」および「Mobileye Chauffeur」プラットフォームに基づいて、部分的および高度な自動運転のためのテクノロジーを提供する予定です。将来的には、フォルクスワーゲン グループのアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ポルシェの各ブランドは、これらのテクノロジーを使用して、すべてのパワートレイン・タイプのモデル ポートフォリオに、新しいプレミアム指向の運転機能を迅速に導入する予定です。これには、許可されたエリアおよび条件で、複数車線の高速道路における自動追い越し、赤信号や一時停止標識での自動停止、交差点やロータリーでのサポートなど、高速道路や市街地走行のための高度な支援システムが含まれます。さらに、モービルアイは自動運転用の、さらに高度なテクニカル コンポーネントをフォルクスワーゲン商用車に供給する予定です。長期的には、フォルクスワーゲン グループは、完全に独自に開発した社内システムを採用することを目指しています。ボッシュ(Bosch)およびクアルコム(Qualcomm)、さらには中国のホライズン・ロボティクス(Horizon Robotics)とのパートナーシップは、引き続き重視していきます。すべての運転支援システムは、フォルクスワーゲン傘下のカリアド(Cariad)が開発したソフトウェア アーキテクチャーをベースにしています。

「私たちの目標は、最先端のテクノロジーを備えた優れた製品を世界中のお客様にお届けすることです」と、フォルクスワーゲン グループおよびポルシェAG最高経営責任者(CEO)のオリバー ブルーメは述べています。「新しい自動運転機能により、利便性と安全性が大幅に向上します。私たちのブランドや製品に合わせたこれらの機能により、あらゆるドライブを、これまで以上にパーソナライズできるようになります。私たちは、一流のパートナー企業のモービルアイとともに、この自動車の未来と一緒に形成していきます。」

VOLKSWAGEN GROUP



フォルクスワーゲン グループとモービルアイは、先進運転支援システムに関して、既にしばらくの間協力してきました。将来的には、モービルアイはフォルクスワーゲン グループ内でレベル2の自動運転機能(「部分自動運転」)を強化したテクノロジーも提供する予定です。このレベルで、ドライバーはステアリングホイールから手を離すことが許可されますが、交通状況に注意を払い、いつでも運転に介入できるようにしておかなければなりません。

さらに、フォルクスワーゲンはレベル3の自動運転機能(「高度な自動運転」)についてもモービルアイと協力しています。レベル3では、指定されたエリアで車両が一時的に運転操作を引き継ぐことができます。この場合、ドライバーはシステムを継続的に監視する必要はありません。フォルクスワーゲンとモービルアイは、これらのテクノロジーを、傘下ブランドの共通システムとして共同開発しています。

さらに、モービルアイは、プレミアム指向の新しいE³ 1.2ソフトウェア アーキテクチャー向けに、量産可能な特定の機能も提供します。カリアドが開発をリードしているこの新しいアーキテクチャーは、グループ内でアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ポルシェが段階的に導入する予定です。製品戦略の一環として、各ブランドはシステムの具体的な展開方針を策定し、ブランド固有の特徴に合わせてシステムを個別に調整します。

さらに、フォルクスワーゲン商用車ブランドには、レベル4(「完全自動運転」)を実現するためのソフトウェアとハードウェアが、モービルアイから供給される予定です。フォルクスワーゲン グループの子会社であるフォルクスワーゲンADMTは、フォルクスワーゲン「ID. Buzz.(アイディ. バズ)」をベースにした電気自動車開発プラットフォームに、これらのコンポーネントを実装します。フォルクスワーゲンADMTの目標は、自動運転機能を備えた「ID. Buzz」を、モビリティおよび輸送サービス向けに量産することです。

「私たちは、フォルクスワーゲン グループと緊密に連携して、運転の未来を、より安全に、より自動化し、より価値あるものにするに誇りを持って取り組んでいます」と、モービルアイ社長兼CEOのProf. アムノン シャシュアは述べています。「フォルクスワーゲン グループは、これらのプログラムを通じて、AIを活用した先進運転支援技術を世界中の消費者に提供し、自動運転車による新しいサービスを開発するという点で業界をリードしています。」

フォルクスワーゲン グループ、運転支援システムの開発戦略を強化

フォルクスワーゲンは、新しいE³ 1.2およびE³ 2.0ソフトウェア アーキテクチャー向けの運転支援システムの開発を、社内で開発する革新技術と、他の企業とのコラボレーションによる課題を明確に分けています。

VOLKSWAGEN GROUP

これによりプロセスが合理化され、複雑さが軽減されます。モバイルアイなどの戦略的パートナーと協力して、フォルクスワーゲン グループはプレミアム指向のE³ 1.2アーキテクチャーの迅速な提供を加速していますが、長期的にはグループ全体にわたり、各ブランドの自動運転機能を内製のみシステム（「ソフトウェアスタック」）により賄う予定です。

将来のE³ 2.0アーキテクチャーの開発に向けて、フォルクスワーゲン グループは、そのリソースと開発責任をソフトウェア子会社のカリアドで強化し、統合することを計画しています。カリアドはボッシュと協力して、グループ独自の完全なシステムの開発を目指しています。このシステムは、将来的に、電気自動車専用開発され、完全にデジタル化され、拡張性の高いメカトロニクス グループのプラットフォーム、スケーラブル システムズ プラットフォーム (SSP) に統合されます。

「私たちはお客様重視の姿勢をさらに強化すると同時に、運転支援システムの開発戦略を強化しています。迅速かつ信頼性の高いシステムの供給に注力しています」と、フォルクスワーゲン グループ研究開発責任者で、ポルシェAG研究開発担当取締役を兼任するミヒャエル シュタイナーは述べています。

Pietro Zollino

Volkswagen Group

Deputy Head of Group Communications, Head of Corporate Communications

+49 (0)172-8371-431

pietro.zollino@volkswagen.de | www.volkswagen-group.com

Jonas Kulawik

Corporate Communications

Spokesperson Product & Technology, Digitalization

+49 (0)152-2945-2616

jonas.alexander.kulawik@volkswagen.de | www.volkswagen-group.com

Mobileye

Justin Hyde

Director, Corporate Communications

+1 (202) 656-6749

justin.hyde@mobileye.com



VOLKSWAGEN GROUP

About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group is one of the world's leading car makers, headquartered in Wolfsburg, Germany. It operates globally, with 114 production facilities in 19 European countries and 10 countries in the Americas, Asia and Africa. With around 684,000 employees worldwide. The Group's vehicles are sold in over 150 countries.

With an unrivalled portfolio of strong global brands, leading technologies at scale, innovative ideas to tap into future profit pools and an entrepreneurial leadership team, the Volkswagen Group is committed to shaping the future of mobility through investments in electric and autonomous driving vehicles, digitalization and sustainability.

In 2023, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 9.2 million (2022: 8.3 million). Group sales revenue in 2023 totaled EUR 322.3 billion (2022: EUR 279.1 billion). The operating result before special items in 2023 amounted to EUR 22.6 billion (2022: EUR 22.5 billion).

About Mobileye

Mobileye (Nasdaq: MBLY) leads the evolution of mobility with its autonomous driving and driver-assistance technologies, based on world-renowned expertise in artificial intelligence, computer vision, mapping, and integrated hardware and software. Since its founding in 1999, Mobileye has enabled the wide adoption of advanced driver-assistance systems while pioneering groundbreaking technologies such as REM™ crowdsourced mapping, True Redundancy™ sensing, Responsibility-Sensitive Safety™ (RSS™) driving policy and Driving Experience Platform (DXP). These technologies support a product portfolio structured for scale and designed to unlock the full potential of mobility, offering a range of solutions from premium ADAS to autonomous vehicles. By the end of 2023, about 170 million vehicles worldwide had been equipped with Mobileye technology. In 2022, Mobileye listed as an independent company separate from Intel (Nasdaq: INTC), which retains majority ownership. For more information, visit <https://www.mobileye.com>.
